劇団民藝公演

作・演出
中津留章仁

覗き棒

経済の時代、心の消費——
「喪失」を今見つめ直す
中津留章仁×樫山文枝、
民藝初の書き下ろし！

2016年9月28日[水]〜10月9日[日]

紀伊國屋サザンシアター | 新宿南口

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）

	9/28 水	29 木	30 金	10/1 土	2 日	3 月	4 火	5 水	6 木	7 金	8 土	9 日
13:30		●	●	●	★	●	●	★			●	●
18:30	●								●	●		

開場は開演の30分前、受付は1時間前からです。
★10月2日（日）出演者との交流会
★10月5日（水）バックステージツアー（各公演終了後。参加費無料）

◉前売開始
2016年8月2日(火)より

◉入場料金（全席指定・税込み）
一般6300円／学生割引3150円［劇団のみ取り扱い］
▶夜チケット4200円［夜公演全席］

◉お申し込み・お問い合わせ
劇団民藝 ☎044(987)7711［月〜土 10時〜18時］
劇団民藝青山事務所 ☎03(3401)5131
http://www.gekidanmingei.co.jp/
ホームページからもお申し込み頂けます。

◉チケットぴあ
http://pia.jp/ Pコード451-655
セブン-イレブン、サークルK・サンクス、チケットぴあ店舗

◉ローソンチケット
オペレーター対応 ☎0570(000)407［10時〜20時］
Lコード予約 ☎0570(084)003 Lコード31308

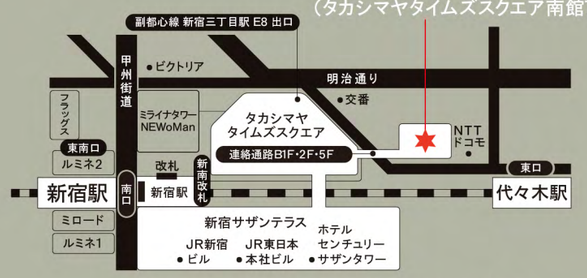
◉イープラス
http://eplus.jp/［パソコン・携帯］

◉キノチケットカウンター（新宿駅東口・紀伊國屋書店新宿本店5F）
［店頭販売10時〜18時30分］
キノチケオンライン https://www.kinokuniya.co.jp

◉バリアフリー観劇情報（ご利用の際は必ず事前にご連絡ください）
・バリアフリー割引あります。 ・無料託児サービス土・日のみ承ります。
・車イス席・補助犬・点字チラシ・点字パンフレット承ります。
◉視覚障害者対象・事前舞台説明会 10月5日12:45〜
◉聴覚障害者対象・台本事前貸出申込先
FAX 044(986)0034／E-MAIL seisaku@gekidanmingei.co.jp
当日受付でも筆談対応可能 →詳細はHPで

Facebook, Twitterにて最新情報発信中！ アカウント「劇団民藝」

紀伊國屋サザンシアター
（タカシマヤタイムズスクエア南館7F）☎03(5361)3321



JR「新宿駅」新南改札より徒歩5分・南口より徒歩8分
JR「代々木駅」東口より徒歩5分
地下鉄副都心線「新宿三丁目駅」E8出口より徒歩5分

共催｜一般社団法人 劇団民藝

篦棒（べらぼう）

「経済大国という呼び名に
この国の人々は浮かれていたけれど、
これは民主主義が浸透していないという、
とても恥ずべき呼び名です」——凛

80年代に小さな飲食店を創業し一代で飲食店グループを展開する大企業へと躍進した大友家。
妻・凛（樫山文枝）は二人の子供の成長を楽しみに生きている。
夫・信勝（西川明）は雇用条件の改善を求めている社員に対し労働組合を解体し、不当に解雇。
以降も経済を優先させ、会社への愛着と執着からさまざまな行為で次々と人を切り捨てていく。
夫婦をとりまく人びとの愛憎、友情、欲望も渦巻く中、
凛は夫の経営方針に疑問を抱き、
経済より人命の尊厳を重視するよう信勝に進言するのだが……

『背水の孤島』『そぞろの民』など〝今〟と徹底的に向き合い重厚な人間ドラマを生み出してきた中津留章仁。今作では現代の家庭を舞台に一企業の経営者側の視点から、利益追求のために失われる人間性とそれとは無関係に生じる人間の情や交流を通じて、人間らしく生きることを問います。70年代から広く使われてきた「消費者」という言葉。いつからか無意識に受け入れている私たちは、心をも消費してしまっているのではないか——複雑化した現代社会で思考停止に陥らず人間らしくあり続けるためには？　樫山文枝主演で劇団民藝との初タッグに挑みます！

作・演出　中津留章仁
装置　乘峯雅寛
照明　宮野和夫
衣裳　宮本宣子
音楽　高畠 洋
音響　佐藤こうじ（Sugar Sound）
舞台監督　中島裕一郎

吉田陽子

河野しずか

白石珠江

樫山文枝

竹本瞳子

神保有輝美

飯野 遠

桜井明美

山本哲也

西川 明

竹内照夫

松田史朗

小杉勇二

吉田正朗

齊藤尊史

みやざこ夏穂

山梨光國

境 賢一

中津留章仁
なかつる あきひと

1973年、大分県生まれ。劇作家・演出家。2000年にトラッシュマスターズを旗揚げ、以降すべての作品で作・演出を手がける。現代社会が抱える問題点を取り入れた骨太な物語で重厚な人間ドラマを描く。2011年、東日本大震災と原発事故を正面から扱った『背水の孤島』で第19回読売演劇大賞・選考委員特別賞、同・優秀演出家賞、第46回紀伊國屋演劇賞個人賞など受賞、また第56回岸田國士戯曲賞最終候補。近年ではトラッシュマスターズ以外にも活動の場をひろげている。主な作品に『奇行遊戯』(10)『黄色い叫び』(11)『来訪者』(13)『虚像の礎』(14)『そぞろの民』(15)『猥り現（みだうつつ）』(16)（トラッシュマスターズ、作・演出）、『みすてられた島』(14)『雲ヲ掴ム』(16)（青年劇場、作・演出）、『バグダッド動物園のベンガルタイガー』(15)（新国立劇場、演出）など。7月にはトラッシュマスターズ『殺人者J』（作、演出）を上演予定。

写真｜沼 忠之　題字｜山崎 剛　デザイン｜有山達也＋山本祐衣